



これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり ～アフターコロナに向けて考える～ セミナー開催報告

市民国際プラザ コーディネーター 泉水 福生

国際協力と地域共通の課題解決という視点

市民国際プラザでは、地域の国際化推進のための学びの場、自治体、国際交流協会、NGO/NPO などの多セクター間連携推進の場として毎年「地域国際化ステップアップセミナー」を開催しています。今回は「これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり～アフターコロナに向けて考える～」をテーマに開催しました。オンライン開催したことから、昨年に引き続き北海道から沖縄までと全国の自治体、国際交流協会、NGO/NPO、学生、研究者、企業などに参加いただきました。

地域発ならではの優れた国際協力の取り組みは多数あります。また、そうした好事例は途上国への貢献は勿論のこと、双方向性を有し、地域づくり、人づくりの観点においても意義深く、結果として地域における課題解決の本質的な解の一つを提供している場合があると感じられます。さらに、長年海外との交流・協力関係を築いている地域では多様性を尊重する意識醸成の素地が作られ、外国人との共生が円滑に進む傾向も見られます。国際協力を活かした地域づくりなどの参考としていただくべく、以下のようなプログラムとしました。

セミナープログラム	
13:30	開会挨拶 (一財)自治体国際化協会(CLAIR)
13:40	導入講義「これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり」 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーヘッド 堀江 由美子 氏
13:55	●事例紹介1 「国際協力の先に見据える経済面での繋がり ～北海道滝川発、モンゴルのアグリビジネス振興プロジェクト」 一般社団法人滝川国際交流協会 参与 阿部 孝志 氏 プログラムコーディネーター ナンザド ガンチメグ 氏
14:20	休憩
14:25	●事例紹介2 「長野県佐久市とタイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア包括プロジェクト」 学校法人佐久学園佐久大学社会連携・研究支援センター客員教授 東田 吉子 氏 客員講師(元佐久市福祉部長) 坂戸 千代子 氏
14:50	●事例紹介3 「カンボジアにおけるスポーツを通じた開発 ～岡山からの草の根支援と交流」 認定特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド 事務局次長 井上 恭子 氏
15:15	休憩
15:30	●パネルディスカッション及びQ&Aセッション モデレーター 堀江 由美子 氏 パネリスト 阿部 孝志 氏、ナンザド ガンチメグ 氏、 東田 吉子 氏、坂戸 千代子 氏、井上 恭子 氏
16:30	閉会

地域発の国際協力の意義とは？

導入講義として、ご自身も愛媛県内子町に住みながら、国際的な政策提言活動に従事されているセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの堀江氏にSDGsも踏まえてこれからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくりについてお話しいただきました。地域発の国際協力の意義として1. 国と国の関係を超えた交流による平和構築。2. 対等なパートナーシップによる相互の学び。3. 地域における「普遍的な価値」の浸透。4. 足元の課題と世界の課題に主体的に取り組む人づくりが提示されました。その後3つの具体例を発表いただきました。

不安定・不確実な世界で広げる連帯の輪
地域発の国際協力、地域の国際化の意義

1. 国と国の関係を超えた交流による平和構築
2. 対等なパートナーシップによる、相互の学びや気づきの促進
3. 地域における「普遍的価値」の浸透
4. 足元の課題・世界の課題に主体的に取り組む人づくり

Save the Children

堀江氏の導入講義要点

滝川市の長年に渡る国際交流・協力が地域にもたらしたもの

滝川国際交流協会の阿部氏と、CIR 出身でモンゴル人の同協会コーディネーター、ガンチメグ氏にはモンゴル支援のプロジェクトを発表いただきました。1997年に降人口4万人弱の同市を訪問した外国人は100か国から約1,800人。2011年からはクリアの各種制度も有効活用しながらモンゴルの農業を中心とした支援を開始、2017年からはJICA草の根技術協力事業に発展し



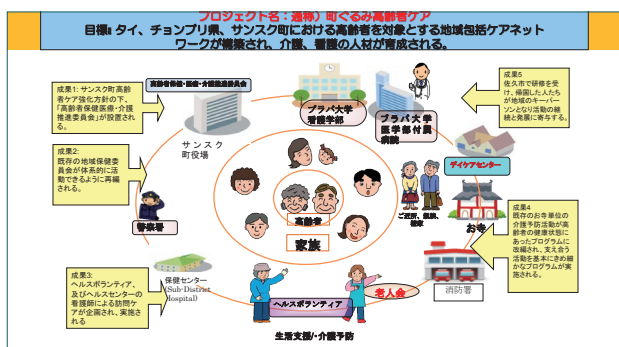
ました。「世界に誇れる国際田園都市」を将来都市像に掲げ、国際交流・協力の長い歴史を誇る滝川市の海外とのつながりを活かした地域づくり、近年は滝川市に暮らす外国人との共生の取り組みにも力を入れています。



滝川市の国際協力事業からの発展的な広がり

健康長寿のまち佐久市によるタイの高齢者ケア包括プロジェクト

佐久大学東田氏と佐久市元福祉部長の坂戸氏には佐久市の行政、医療、地域連携による保健予防活動を活かした「つばさ事業」とJICA 草の根によるタイの高齢者介護支援プロジェクトを発表いただきました。国の高齢者福祉施策に先んじて高齢化の進むタイの高齢者介護支援にあたり、佐久市の取り組みを参考とした町ぐるみ高齢者ケア包括プロジェクトによる多セクター間の連携推進や人材育成は成果をあげ、課題先進国日本ならではの国際協力事業となっています。



佐久市 町ぐるみ高齢者ケア包括プロジェクトの概要

NGO 主体のプロジェクトと自治体連携

岡山県岡山市を本部とする国際協力 NGO ハート・オブ・ゴールド (HG) の井上氏には、カンボジアの体育科教育支援事業を発表いただきました。小学校から高校まで一貫した質の高い体育、4 年制大学化支援などを外務省の資金や JICA 草の根で展開し、さまざまな専門

家などと連携しています。並行して岡山県や岡山市との連携も重要で、県下の小中学校などへの研修受け入れ、教員などのカンボジア派遣による人材育成を支援しています。さらに、地元の小学校から大学を対象にカンボジアでの国際協力活動を題材とした国際理解教育を行い、地域の青少年の育成も行っています。



ハート・オブ・ゴールドのカンボジア体育教育支援事業

これからの地域の国際化と地域づくりに向けて

後半のパネルディスカッションでは、「国際協力を始めるにあたっての関係者の理解の取り付け方」「コロナ禍での困難や工夫」「地域発の国際協力によって地域で得られる意義やメリット、『地域の強み』を国際協力で活かす秘訣、地域づくりにつながる国際協力や、過疎地での活性化につながる取り組み」など、重要なポイントについて有意義な意見交換がなされました。「元々地域にある強みや特性と、きっかけとなる機会があり実現したプロジェクト」であること、「支援する側される側」ではなく人と人との信頼関係を構築し、お互いが「パートナー」として学び合っていること、そして、事業実施に伴う波及効果をもたらしていることが共通していました。国際協力で途上国に貢献すると共に信頼関係を築き学び合うことが地域の活性化、そして多様性の尊重につながるという遠回りのようで真に地域を豊かにする取り組みと感じました。今後も地域づくりに資するテーマでセミナーを実施する予定です。是非ご参加ください。

報告書はこちらから

<http://www.plaza-clair.jp/event/contents/00115612.html>

<http://www.plaza-clair.jp/event/>